

2025年度 授業コード: 52107200

授業科目	子どもと環境(3年制コース)				実務家教員担当科目	-			
単位	1	履修	選択	開講年次	1	開講時期	前期		
担当教員	未寄 雅美								
授業概要	<p>保育の5領域における「環境」のねらいと内容について、また、乳幼児の豊かな遊びと生活を支えるための保育環境の重要性を理論的に説明する。</p> <p>乳幼児が自立的に行動し創造的な活動を展開するには、環境構成が不可欠であり、環境を構成するのは保育者の責務であることへの理解を促す。</p> <p>成績については、試験、提出物、授業態度により評価を行う。</p>								
授業形態	対面授業		授業方法	Google フォームを用いて振り返りを行う					
<b>学生が達成すべき行動目標</b>									
標準的レベル	<p>まずは、幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領における「環境」のねらいと内容について、理解できることを目指す。</p> <p>その上で、保育活動に必要な環境構成、物的環境・人的環境等の構成する要素について、幼児の自発的活動としての「遊び」と環境の関連について理解し、保育の環境整備や工夫を意欲的に行う態度を身につける。</p>								
理想的レベル	<p>幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領における「環境」のねらいと内容について、十分に理解できる。</p> <p>保育活動に必要な環境構成、物的環境・人的環境等の構成する要素について理解し、幼児の自発的活動としての「遊び」を中心とした保育活動を展開する上での環境整備や工夫を、創造的かつ意欲的に行う態度を身につける。</p> <p>安全で安心できる環境について基本的なことを理解し、実践に生かすことができる。</p>								
<b>評価方法・評価割合</b>									
評価方法		評価割合(数値)			備考				
試験		40							
小テスト									
レポート									
発表(口頭、プレゼンテーション)									
レポート外の提出物		30			ノートプリントの作成				
その他		30			質問やコメントなど積極的な授業態度				
<b>カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング</b>									
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	ナンバリング	CH11304J
<b>学習課題(予習・復習)</b>								1回の目安時間(時間)	
保育の5領域について、復習すること。								4	
<b>授業計画</b>									
第1回	乳幼児の特性と環境構成の重要性・環境とは何か・環境の諸側面(物的・人的環境)								
第2回	幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育保育要領における「環境」 (1)領域「環境」のねらいと内容								

第3回	幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育保育要領における「環境」 (2)領域「環境」のねらいと内容
第4回	幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育保育要領における「環境」 (3)領域「環境」のねらいと内容
第5回	幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育保育要領における「環境」 (4)領域「環境」のねらいと内容・配慮すべき事項について
第6回	保育における「遊び」とは －遊びによって育つ乳幼児の姿をとらえる
第7回	子どもの遊びと環境構成 －遊びの素材と道具と空間を考える
第8回	まとめ・試験
テキスト	「幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(濃いピンクの資料)を毎回持参して下さい。 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」は自宅で予習・復習するときに、活用して下さい。
参考図書・教材 /データベース・ 雑誌等の 紹介	高山静子著『改訂「環境構成の理論と実践」保育の専門性に基づいて』郁洋舎 2021 瀧薫『保育とおもちゃー発達の道すじにそったおもちゃの選び方』エイデル出版社 2018 (上記の書籍は、指定図書として図書館にあります)
課題に対するフィードバックの方法	授業内でワークシート作成の課題を出すので、きちんと〆切までに提出しましょう。 ワークシート作成は基本的な内容の確認のため、難しくありません。後日返却しますので様々な授業で生かすようにしてください。
学生へのメッセージ・コメント	保育の5領域についてまずは理解し、保育における遊びの重要性と環境の関係について理解しましょう。 ワークシート作成の課題を中心に自宅学習を行ってください。また、図書館の指定図書も読んでみましょう。 保育に関する基本的な用語などを確認し、自分なりに「考える」態度を持って授業に臨んで下さい。